

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	送配水施設管理事業		事業開始年度	平成17年度			
担当課	上下水道事務所 水道課		担当者	長島正規			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	01	水道施設の維持管理・更新				
事業の目的	施設の故障がなく、常に適正な水道施設の運転が出来る。						
事業の概要	<施設管理> 定期的に点検し、故障や不具合が発生した時は、修繕や更新を行う。 <管路管理> 漏水時、修繕を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	施設の正常運転割合	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	給水地区の安定した給水のために送配水施設の維持管理の向上に努めました。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上水道改良事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	上下水道事務所 水道課			担当者	長島正規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	01	水道施設の維持管理・更新				
事業の目的	管路破損事故の減少により、供給が安定化する。 安全な水道水が安定的に供給される。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した管、漏水事故の多い箇所、他の工事等で支障となる管の布設替工事 ・水道管理設跡の舗装復旧工事 ・浄水場・配水池等の設備の修繕、更新工事 						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	有収率	%	75.6	74.6	76	77
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	年間配水量は5,182,582m ³ で前年度と比較して141,127m ³ 増加したが、年間有収水量は3,866,199m ³ となり、有収率は前年度と比較して0.95%減少した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	水源地管理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	上下水道事務所 水道課			担当者	長島正規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	01	水道施設の維持管理・更新				
事業の目的	取水場、浄水場の水道施設を維持管理することにより、常に安全な給水の確保が行える。						
事業の概要	取水場、浄水場の維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	施設の正常運転割合	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	取水場、浄水場の水道施設が効率良くかつ適正に運転が行われ安心安全な水道水が安定的に供給出来るよう維持管理の向上に努めました。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	重要給水施設配水管整備事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	上下水道事務所 水道課		担当者	長島正規			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	01	水道施設の維持管理・更新				
事業の目的	防災計画における避難施設や病院が、被災時においても給水が確保されるようにする。						
事業の概要	向河原浄水場から重要給水施設（5箇所）までの老朽化した配水管の布設替工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	布設替工事進捗率	%	93.4	100		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	管路の耐震性が高まり、被災時の基幹施設への配水量が確保される。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家上水道第二次拡張出資事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	総合政策部 財政課		担当者	田代 直也			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	02	水道未普及地域の解消				
事業の目的	未普及地域解消事業に係る費用に対し、水道事業会計へ出資することにより、未普及地域の早期解消を図る。						
事業の概要	出資金の額は、平成26年度から令和3年度までの8年間で、1年度あたり1億円、8年間の総額8億円を限度とする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	100,000		100,000		100,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	水道未普及地域解消事業計画（平成27年度～令和3年度）	計画の進捗状況	進捗状況 54.1%	進捗状況 71.5%	進捗状況 84.5%	進捗状況 96.8%
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上阿久津台地土地区画整理関連拡張事業			事業開始年度	平成12年度		
担当課	上下水道事務所 水道課		担当者	長島正規			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	02	水道未普及地域の解消				
事業の目的	区画整理事業地区内に良質で安全な水道水を供給する。						
事業の概要	区画整理事業地区内の水の供給のため、配水管拡張工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	土地区画整理事業による整備道路への水道管理設率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	区画整理事業の道路工事の進捗に合わせて、水道管布設工事を行っている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上水道拡張事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	上下水道事務所 水道課			担当者	長島正規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	02	水道未普及地域の解消				
事業の目的	上水道区域全域に良質で安全な水道水が供給される。						
事業の概要	水道普及率向上を図るため、配水管拡張工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	普及率	%	91.1	91.9	92.5	93
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	給水人口は40,552人、前年度と比較して水道の普及率は0.79%増加し、給水人口も248人増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	未普及地域解消事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	上下水道事務所 水道課			担当者	長島正規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	02	水道未普及地域の解消				
事業の目的	氏家上水道区域全域に良質で安全な水道水が供給される。						
事業の概要	氏家地区における未普及地域を解消するため、配水管布設工事の整備を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	配水管布設工事進捗率	%	54.1	71.5	84.5	96.8
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	工事進捗率は順調に推移している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	水道料金等賦課徴収業務		事業開始年度	平成17年度			
担当課	上下水道事務所 水道課		担当者	小森 裕子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	05	安全でおいしい水道水の安定供給				
	基本事業	03	水道事業の安定経営				
事業の目的	水道料金の確実な賦課及び料金の徴収を行い、収納率向上を目指す。						
事業の概要	届出の受付（開栓、休止、名義変更）、メータ検針業務（委託）、納付書、督促状、催告書の発行 滞納整理、徴収業務						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	収納率	%	99.93	99.94	99.94	99.94
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	平成30年度給水件数は、90,395件 収納率99.94%					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		